

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 722 号 令和 3 年 7 月

令和 3 年度山口県獣医師会定時総会開催報告

＝ 新役員選任等決議 ＝

会長理事 田 中 尚 秋

去る令和 3 年 6 月 13 日(日)、梅雨時期であるためか日が射さないどんよりとした天気ではあったが、暑くも寒くもない適度な体感温度の中、午前 10 時から山口市湯田温泉の「防長苑 孔雀の間」において今年度定時総会を開催した。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が収まらず、今年度も来賓を招待せず、会員のみの規模を縮小しての開催であった。

まず始めに令和 3 年度の物故者(防府支部：越智茂樹先生、山口支部：平田由美先生、奥野 勝先生、宇部厚狭支部：江本帰一先生、下関支部：能津節夫先生)、5 名の先生方に対する黙祷を行った後、小職から、出席会員への謝意と平素からのご支援・ご協力に対する感謝、新型コロナウイルス感染症の状況(近隣の広島県、岡山県、福岡県等全国 9 都道府県に緊急事態宣言が発令中、日本獣医師会でも感染者発生、県内でも変異株の流行がみられることなど)、昨年度も本会のメインである学会等の事業がほとんど開催できなかったこと、今後の懸案事項：マイクロチップに係る収益事業の件、来年 5 月に施行される愛玩動物看護師法への対応、獣医師会館建設問題等、課題が山積していることなどを述べ、引き続き会員諸氏のご協力をお願いしたい旨の挨拶を行った。

例年、総会の席で行っていた表彰は、時間短縮のため紹介のみとした。本会の発展等に寄与され、表彰された先生方は次のとおりである。

公益社団法人山口県獣医師会会長表彰

(功労者表彰)

大黒屋 勉(玖珂) 河野 明広(山口)
石井 俊昭(美祢) 市岡 貴典(長北)

狂犬病予防注射指定獣医師従事感謝状

竹田 哲也(玖珂) 武居 治義(徳山)
岸本 彦生(防府) 藤本 信一(山口)
藤本 英三(美祢) 水藤 創(豊浦)

(敬称略。所属支部は令和 3 年 3 月 31 日現在)
受賞の先生方には、心から祝意と敬意を表し、今後ますますのご活躍を祈念したい。

続いて議事に入り、福島和彦常務理事から現在の会員数 388 名に対し、出席者 31 名、委任状の提出者 190 名で、出席者 221 名となり、定款第 17 条第 1 項の規定に基づく定足数の過半数を満たしており、総会が成立することが報告され、開会が宣言された。なお、理事 12 名、監事 2 名は全員出席であった。

議 事

- 第 1 号議案 令和 2 年度 事業報告の件
(報告事項)
- 第 2 号議案 令和 2 年度決算の件(承認事項)
- 第 3 号議案 令和 3 年度事業計画書の件
(報告事項)
- 第 4 号議案 令和 3 年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みに関する書類の件(報告事項)
- 第 5 号議案 令和 3 年度会費の額及び徴収方法の件(承認事項)
- 第 6 号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任の件(承認事項)

そ の 他

議長の選出並びに議事録署名人の選任

議長に山口支部の中間實徳先生を選出し、議長は、議事進行について協力を求め、定款第 18 条第 2 項に規定される議事録署名人を議長のほか出席理事から

予告

第 58 回(2021 年度)山口県獣医学会開催案内

開催日：令和 3 年 8 月 29 日(日) 開催場所：防長苑(山口市熊野町)

令和 3 年度獣医学術中国地区学会

開催日：令和 3 年 10 月 16 日(土)～17 日(日) 開催場所：ホテルグランヴィア広島(広島市)
※場合によっては 10 月 17 日(日)のみの開催となります。

2名を選任した。被選任者らはこれを了承した。続いて書記2名を指名し、当該人らはこれを了承した。なお、議事録作成者は福島和彦書記とされた。

議	長	中間	實徳	(山口支部)
議事録署名	人	田中	尚秋	(理事)
		中村	滋	(理事)
書	記	藤原	宣義	(山口支部)
		福島	和彦	(山口支部)

議案の審議経過

議長により次のとおり議案審議が進められた。

第1号議案 令和3年度事業報告の件 (報告事項)

第1号議案について議長は福島常務理事に説明を求めた。

福島常務理事は、まず重点実施事項について説明し、令和2年度事業について、会員等の動き、各種会議等の開催状況、事務の推進状況、学会の開催・参加状況、事業の実施状況等について総会資料を用いて詳細に説明した。

これに対し議長が質疑・意見等の有無を諮ったところ、異議なく全会一致で了承された。

第2号議案 令和2年度決算の件(承認事項)

第2号議案について議長は、福島常務理事に説明を求めた。

福島常務理事は、令和2年度決算について貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記並びに財産目録の各計算書類等を参照しながら概要を説明した。特に貸借対照表を用いて、昨年の同時期の資産状況の比較説明を行い、著しい増減が無かった旨を説明した。また、正味財産増減計算書では、経常収益、経常費用について、昨年度と比較し特に増減幅が大きかったものを中心に、その理由等を説明した。経常収益計27,396,433円、経常費用計22,797,276円となり、そのうち公益目的事業に係る経常費用計は14,985,471円となることを説明し、特別会費に係る単価改正に伴う収益増があったものの苦しい運営状況は変わらず、獣医師会館の新規取得や令和4年の地区学会開催の準備資金の振替も含め、今後も経費節減の必要性の旨を報告した。併せて、公益目的事業比率が約65%となることを説明した。公益目的事業(公1、公2)における当期経常増減額はいずれもマイナスとなり、収支相償もクリアできたこと、さらに、遊休財産額は保有制限を満たしており、公益法人としての認定基準である3要件をすべて満たしていることを説明した。

以上の説明に続き議長は、監事に監査報告を求めた。

《監査報告》

監事を代表して水原孝之監事から、令和3年5月18日(火)、山口県獣医師会館において、会長から提出された令和2年度事業及び会計について監事2名で監査を行った結果、事業報告は、法令及び定

款に従い法人の状況を正しく示しているものと認められ、また、理事の職務の執行に関する不正の行為、法令等に違反する重大な事実認められなかったこと、さらに、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認められたとの監査報告があった。

議長は、本議案に対し質疑、意見の有無を諮ったところ、特に質疑はなく挙手により全会一致で決議された。

第3号議案 令和3年度事業計画書の件 (報告事項)

第4号議案 令和3年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みに関する書類の件(報告事項)

議長は、第3号議案及び第4号議案は関連議案として一括上程することとし、福島常務理事に説明を求めた。

福島常務理事は、令和3年度事業計画として公益目的事業の適正かつ着実な進展を図っていくことを基本方針として、それぞれの諸事業を積極的に実施していく予定であることを報告した。特に、昨年5月に発生があった人の狂犬病(輸入症例)や今も発生が懸念されている重症熱性血小板減少症候群(SFTS)及び新型コロナウイルス感染症など人と動物の共通感染症対策に特に留意していく必要があることから医師会との連携協力の推進・深化を図ること、マイクロチップの普及啓発を図ること、自然災害の常態化と激甚化に対するリスク管理の必要性と動物愛護、福祉など公益目的事業1及び2等について説明した。

公1「獣医学術・獣医療技術の向上普及、人材育成、畜産振興支援及び公衆衛生向上等事業」について

令和3年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会、各地区の獣医学術地区学会及び獣医師大会が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、十分な対策を取りつつ開催が予定されていることから、令和3年7月1日(木)開催予定(6月30日(水)に変更)の学会運営委員会において、令和3年度の山口県獣医学会の開催について協議することを説明した。また、第48号山口県獣医学雑誌への発刊に伴う投稿を会員に依頼した。さらに、各部門分野別研修会・講習会等は、令和3年7月8日(木)に開催が予定されている三部会委員会で検討される旨を説明した。

家畜衛生、畜産振興支援等を図る事業では、主に畜産共進会選奨、畜産関係技術研修会等への参加などが中心となること等を説明し、公衆衛生の向上・普及啓発等を図る事業については、動物由来感染症等の防止及び食の安心・安全の確保対策を始め、狂犬病予防対策の推進・普及啓発、食中毒予防対策、一般社団法人山口県医師会との学術

交流推進等を図る予定であることなどを説明した。

公2「動物の愛護・保護・救護等支援事業」について

当該事業についても例年どおり実施予定であり、特にマイクロチップの普及啓発について傾注する旨を説明した。また、愛玩動物看護師制度の発足に伴い「チーム獣医療」体制づくりに向けた対策協議を開始する旨の説明を行った。

令和3年度収支予算等については、狂犬病予防注射頭数の自然減に伴い経常収益計26,262,200円の見込みとした事を説明した。

一方、経常費用については、23,879,000円を計画し、当期経常増減額は、2,383,200円となり、このうち、会館取得資金（約130万円）、災害時動物救護準備資金（10万円）等の振替を行う旨、また、資金調達及び設備投資の見込みについては、予定がないことを説明した。

議長は、本議案に対し質疑、意見の有無を諮ったところ、白銀政利会員（山口支部）から「リモート会議が多くなる中、本会の対応状況について」質問が出され、これに対して、福島常務理事から、「ズーム「プロ」のライセンス取得を行っており、6月1日付けで契約」した旨の説明があった。

その他、特に質疑はなく、第3号議案及び第4号議案は、全員異議なく了承された。

第5号議案 令和3年度会費の額及び徴収方法の件（承認事項）

続いて議長は、第5号議案について福島常務理事に説明を求めた。

福島常務理事は、一般会費、入会費の額については、昨年度と同額（変更なし）であること、徴収方法について、一般会費は令和3年7月31日（土）まで、入会費は入会后速やかに納入すること、特別会費は350円/頭とし、集合注射は、令和3年7月31日（土）、個別注射は、第1期（4月～9月）は令和3年10月末日、第2期（10月～3月）は、令和4年3月末が納入期限となっている旨を説明した。

議長は、これに対し質疑・意見等の有無を諮ったが異議はなく、挙手により全会一致で決議された。

第6号議案 任期満了に伴う理事及び監事の選任の件（承認事項）

続いて議長は、福島常務理事に第6号議案についての説明を求めた。

福島常務理事は、任期満了に伴う新役員候補者（理事、監事）についての審議・承認を依頼した。

なお、承認については、法人法第63条により、各1名ずつの承認を依頼した。

令和3年5月14日開催した役員候補者推薦委員会において承認され、第1回理事会で了承された新役員候補者は、次のとおりである。（敬称略）

理事候補者（13名）

河上 茂（岩柳）	後藤 孝一（岩柳）
佐伯 優紀恵（徳山）	白永 伸行（徳山）
新田 直正（防府）	石井 俊昭（山口）
大石 大樹（山口）	酒井 理（山口）
田中 尚秋（山口）	中村 滋（山口）
松延 佐知子（山口）	脇本 雄樹（山口）
高橋 学（下関）	

監事候補者（3名）

白銀 政利（山口）	水原 孝之（山口）
柳澤 郁成（豊浦）	

<※注>従来の玖珂支部は、令和3年度第1回理事会において「玖珂支部から**岩柳支部**」への変更が承認された。）

議長は、理事候補者13名、監事候補者3名について、逐次名前を読み上げ、挙手により各人の承認を求めた結果、全会一致で全員が承認された。

その他

議長は、「その他」の議案等の有無を諮り、無いことを確認した後、すべての議事が終了したことを告げた。

閉会

今回退任される中越一郎副会長から3期6年間にわたる任期中、ご支援・ご協力いただいたことへの感謝の念を述べられ、今後本会のますますの発展を祈る旨の挨拶を述べられた後、閉会を告げられた。

福島常務理事から、会員諸氏のご協力により定時総会が無事終了したことへの感謝の意が伝えられ、自分自身も今回をもって退任するが、任期中のご支援・ご協力に感謝し、本会の更なる発展を願う旨の挨拶があり、令和3年度定時総会は滞りなく終了した。



令和3年度第2回理事会開催報告

常務理事 酒井 理

令和3年6月13日(日)13時から、同日午前中に開催された令和3年度定時総会において選任された理事及び監事を招集して、令和3年度第2回理事会が開催されましたので概要を報告します。

開 会

まず、田中尚秋前会長理事が、理事13名、監事3名、計16名全員の出席を報告し、定款第32条第1項の規定に基づき理事会の成立を宣言の上、開会を告げた。

前会長理事挨拶

次に田中前会長理事が、会務運営の協力・支援に対する謝辞に続き、公益社団法人としての業務運営推進に向けての新役員相互の連携・協調の必要性と、より一層の発展を期待する旨の挨拶を述べた。

議長の選出並びに議事録署名人の選任

理事会の議長は、定款第31条の規定に基づき「会長理事がこれにあたる」こととされており、田中前会長理事は定時総会終了とともに会長職を退任したが、後任が選定されるまでは議長の任に当たることを説明した。また、議事録署名人を出席理事及び監事全員とし、書記に酒井 理理事を指名し、議事録作成者とした。被指名者らは、これを了承した。

議事の審議経過

議長により次のとおり議案審議が進められた。

第1号議案 会長理事、副会長理事、常務理事の選定に関する件（承認事項）

定時総会において可決・承認され、就任を承諾した理事13名及び監事3名の自己紹介に続き、議長は本議案を上程し、定款第20条第2項及び定款第21条第3項並びに第29条第3号の規定に基づく三役理事選定の方法について諮り、意見を求めたところ理事互選によることとされた。

なお、常務理事は、会の業務を執行し常勤を必要とすること、並びに三役理事は、各職域（産業動物、小動物、獣医公衆衛生）や適材適所を配意したバランスのある選定が望ましいとされた。

その結果、三役理事は、満場一致で以下のとおり選定・決議され被選任者は、これを承諾した。

会長理事	田中 尚秋
副会長理事	白永 伸行
常務理事	酒井 理

新三役就任の挨拶の後、選定され即時就任した田中尚秋会長が議長となり以下の議案について審議が進められた。

第2号議案 新規加入会員の承認の件（承認事項）

議長は、酒井常務理事に説明を求め、酒井常務理事は、配付資料に沿って、1名の新規加入会員について説明した。

議長は、説明内容について質疑・意見等の有無を諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

第3号議案 支部長変更に関する件（承認事項）

議長は、酒井常務理事に説明を求め、酒井常務理事は、下関支部において、長年勤めていただいた山縣純次先生から山中俊樹先生への支部長の変更の報告があった旨を説明した。

議長は、説明内容について質疑・意見等の有無を諮ったところ、異議なく全員一致で承認された。

第4号議案 常設委員会会報編集委員会委員の交代に関する件（承認事項）

議長は、酒井常務理事に説明を求め、酒井常務理事は、会報編集委員の福島和彦前常務から酒井理常務への変更について説明した。

議長は、説明内容について質疑・意見等の有無を諮ったところ、異議なく全会一致で承認された。

第5号議案 令和3年度事業の推進について（協議事項）

議長は、酒井常務理事に対し令和3年度事業の推進等について説明を求め、酒井常務理事は、定時総会で報告した本年度重点事業を中心に取組むことを説明した。

議長は、説明内容、その他について質疑・意見等の有無を諮ったところ、意見等はなく、すべての審議が終了したことを告げた。

閉 会

白永伸行副会長が、議事の円滑な進行について、謝辞を述べ閉会した。

山口県獣医師会役員（理事・監事）選任者名簿

区分	氏名	区分	氏名
会長理事	田中尚秋	理事	高橋学
副会長理事	白永伸行		中村滋
常務理事	酒井理		新田直正
理事	石井俊昭	監事	松延佐知子
	大石大樹		脇本雄樹
	河上茂		白銀政利
	後藤孝一		水原孝之
	佐伯優紀恵		柳澤郁成

(五十音順 敬称略)

どうぞよろしくお願い申し上げます



私の健康管理

山口支部 中間實徳

(山口大学名誉教授・東亜大学獣医看護学コース客員教授)

会員の皆様、お元気ですか？ コロナ禍で外出や旅行もままならない生活を余儀なくされているこの頃です。現在85歳の私の勝手な考え方ですが、私の健康法を紹介します。

まずは、健康で楽しく生活することを目標に以下の事を行っています。

- ① 朝6時25分から35分迄、毎日NHK第2・教育テレビでのラジオ体操。
- ② ガーデニング：草取りや野菜や花の手入れとその後の乾布摩擦。
- ③ 毎週2日(木曜日は湯田地域交流センター、金曜日は宇部市社会福祉会館)は家内と共にスクエアダンス：そこでは8人1セットとして音楽に合わせてコーラーの英語のコマンドに合わせて踊るものです。退職してから20年継続しています。他の女性と話が出来るのもこのダンスのお陰です。
- ④ 今は遠隔授業となっている東亜大学での授業で、4科目(火・水)にそれぞれの課題を与え、そのレポートをチェックして学生へコメントをつけて返却するという形式でやっています。
- ⑤ 「動物臨床医学」雑誌の論文レフリーとゲラの修正業務。
- ⑥ 定期的な歯科と眼科の検診と前立腺ガンのPSA

検査。それと集団検診の受診。

- ⑦ 趣味の尺八演奏の練習。今はコロナ禍で県や市の文化祭や邦楽祭は中止です。
- ⑧ 英語での日記：これまでずっと日本語で書いていましたが、6年前から英語で書くことにしています。脳トレとして日記を書くことは良いとされています。
- ⑨ ラジオ英会話の勉強。

以上のようなことをしながら、健康には気をつけるようにしているためか、これまで入院したのは26歳の時、大阪の大学の助手時代に夜遅くまで乳牛の繁殖障害の往診に携わっていて、急に腹痛と悪心があり診察の結果、急性虫垂炎と分かり手術をして1週間の入院をした時のみです。現在、どこも異常はなく何の薬も飲む必要がないのは有難いことです。

今は、規則正しい生活、免疫力を高めるとされている緑黄色野菜や大豆成分(納豆、きな粉：これは2012年に「徹子の部屋」に出演された当時100歳の日野原・聖路加国際病院長がお薦めされたもの、豆腐等)、魚等の海産物の摂取、質の良い7時間の睡眠、散歩等を心掛けています。元気で健康寿命を長く続けたいと願っているこの頃です。

リレー随筆

コロナ禍での食生活

徳山支部 小谷 崇人
(シラナガ動物病院)

この度シラナガ動物病院福江先生よりバトンをお預かりしましたシラナガ動物病院勤務の小谷崇人と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。一昨年、酪農学園大学から就職を機に山口へ参りました。日々、先生方にご教授いただき、スタッフの方々に助けていただきながら、お陰様で無事3年目を迎えることができました。毎日、必死で頭と胸はいっぱいいっぱいですが、お腹は時間とともにすいてくる…。これも健康の証。食欲が落ちていないことも周りの方々に感謝しております。山口には美味しいものがたくさんあると聞いているのでコロナ禍が終息し、県内あちらこちらに食べ歩きできる日を今から楽しみにしています。

美味しいものを夢見ながら、現実には大学時代と変わらない自炊の日々。夕食は冷凍しておいたご飯とできあいの惣菜。たまに気合を入れて作っても「労多くして味まいち」でガックリ…。「(とりあえず)めざせ満腹」だから、まあ仕方ない…。と、こんな私にもこの4月から助っ人がやって来ました。それは近頃話題の電気圧力鍋です。前々から気にはなっていたのですが、「三種の神器」になれず「無用の長物」になってしまうのではないかと躊躇していましたが、「時短」「ほったらかしておいてできる」の甘い宣伝文句には勝てずについに購入。しかし、届いた箱の大きさにまずびっくり。梱包をほどこいても炊飯器の大きさはあります。狭いキッチンで何とか助っ人の居場所を確保しましたが、冷静に考えてみれば「角煮15分」「カレー10分」は加圧の時間ですから、出来上がるまでには1時間かかります。仕事から帰ってきて「お腹がすいたらすぐ食べたい」にはタイミングが合いません。「ほったらかしにしておいても

できる」のですが、食材を洗ったり切ったりの下ごしらえはもちろんほったらかしにはできず、全部自分です。それでも「たかが鍋、されど鍋」なのです。何と表現すればいいのでしょうか。台所にもう一人いてくれる安心感を与えてくれるので、正に私にとっては助っ人なのです。とりあえずセットしてしまえば、後は火加減したり、かき混ぜたり、ひっくり返したりしなくてもよいので台所から離られるのです。その間は助っ人に任せて他のことができます。助っ人は、「ピーッ」と優しく出来上がりを教えてくれます。加圧の5分、10分は、大したものので具材はやわらかく、中まで味がしみ込んでいます。1時間離れているだけでも、助っ人が5～6時間炊きこんだような仕上がりになります。と、こう書くと使いこなしているようですが、「めざせ楽しんで満腹」が私の目指す所なので、今のところはレシピブックは無視して、とりあえずは何でもあるものを放り込むだけのポトフ風が主流です。鶏むね肉に人参、玉葱、キャベツ、あとはセロリや大根、しめじやトマト、とりあえず肉と野菜を放り込んで、コンソメ、塩、胡椒。加圧は5分～10分。肉も野菜も美味しくいただきます。助っ人は4Lなので2、3日同じものが続きますが、ポン酢やチーズなどで味変しながら「めざせ楽しんで満腹」です。(チャーシューも中々うまくできました。)今は助っ人とうまく付き合いながらコロナ禍が明け、山口の美味しいものをお腹いっぱい食べ歩ける日を楽しみにしています。

次回のリレー随筆のバトンを徳山支部シラナガ動物病院の森永有紀先生にお渡しします。

山口県環境生活部生活衛生課から次のとおり会員の皆様への周知依頼がありました

令3生活衛生第49号
令和3年(2021年)6月7日

公益社団法人山口県獣医師会会長様

山口県環境生活部生活衛生課長

健康診断書(参考例)の送付について

本県の動物愛護管理行政の推進につきましては、平素から、御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、動物の愛護及び管理に関する法律等の一部を改正する法律(令和元年法律第39号)の一部の施行に伴い、第一種動物取扱業者及び第二種動物取扱業者が取り扱う動物の管理の方法等の基準を定める省令が、令和3年4月1日に公布され、令和3年6月1日から施行されました。

本省令に基づき、動物取扱業者は、一年以上継続して飼養又は保管を行う犬又は猫について、毎年一回以上獣医師による健康診断を受けさせることが義務付けられたことから、今後、貴会会員動物病院に健康診断の依頼等が増加すると思料されます。

つきましては、別添のとおり健康診断書の参考例を送付しますので、動物取扱業者から診断書を求められた際の参考にしていただきますよう、貴会会員に周知をお願いします。

[出典] 動物取扱業における犬猫の飼養管理基準の解釈と運用指針
～守るべきポイント～ (令和3年5月 環境省)

(参考例)

診断書

実施した個体：

診断結果： 健康 ・ 治療の必要あり
(所見等)

今後の繁殖の適否： 適 ・ 否 ※繁殖に供する個体の場合

今後の飼育において留意すべき事項等：
(所見等)

年 月 日

獣医師の氏名：

動物病院等の名称：

所在地：

電話番号：

健康診断において、特にチェックが必要な内容		異常	
		有	無
問診	日頃の飼育方法や管理状態、食欲、体調について気になる点がないか等		
行動の確認	常同行動等の異常（攻撃性や不安状態等も可能なら確認する）がないか等		
身体の確認	全身（被毛の状態、削瘦や肥満がないか等）		
	眼の周囲（目やに等で視力に影響がないか等）		
	口の周囲（歯や歯石の状態に異常がないか等）		
	四肢（肉球に傷がないか、爪が伸びすぎていないか等）		
	肛門周囲（糞尿が固着していることがないか、傷やただれがないか等）		
	生殖器の状態（傷やただれがないか、今後繁殖に供しても問題ない状態か等）		
他に実施した検査	血液検査の結果等があれば添付		

※動物愛護管理法第41条の2に基づき、虐待等を受けたと思われる動物を発見した獣医師は都道府県等に通報する義務がある。

(獣医師による通報)

第41条の2 獣医師は、その業務を行うに当たり、みだりに殺されたと思われる動物の死体又はみだりに傷つけられ、若しくは虐待を受けたと思われる動物を発見したときは、遅滞なく、都道府県知事その他の関係機関に通報しなければならない。

第58回（2021年度）山口県獣医学会の開催要領

講演要旨の提出 令和3年8月2日（月）まで
発表用ファイルの提出 // 8月25日（水）まで

1 開催日時：令和3年8月29日（日）

午前：産業動物部部門及び公衆衛生部門

午後：小動物部門

※開催時間は、発表演題数により調整する。

2 場 所：防長苑（山口市熊野町）

3 講演要旨の作成・提出

- ① 講演要旨の作成は、第58回(2021年度)山口県獣医学会講演要旨記入要領（別紙）により作成する。
- ② 講演要旨の提出は、メール又はCD-R、USBフラッシュメモリーに保存したものを**令和3年8月2日（月）必着**で(公社)山口県獣医師会事務局あてに送付する。
※メールアドレス：yama-vet@abeam.ocn.ne.jp
- ③ 学会部門は、学会運営委員の協議で区分を変更することもある。
- ④ 学会の発表様式
 - ア. 発表時間は1題8分（6分で青ランプ、8分で赤ランプ）以内とし、追加討論は2分以内とする。
 - イ. 発表はパソコン、液晶プロジェクターを用い、スクリーン1面による発表とする。
 - ウ. 発表時は舞台上に設置しているキーボード・マウスで**スライド操作を演者自身で行う。**
 - エ. **原則として動画は受け付けない。**動画やアニメーションを使用する場合は、事前に事務局まで連絡の上、各自でパソコンを持参し備え付けのプロジェクターを使用し、責任を持って映写する。
- ⑤ 発表に係る映写（備え付けのプロジェクター・パソコンを利用する場合）
 - ア. Microsoft Power Point（Windows版）で作成する。Mac版は使用しない。
当日は、**Power Point 2016**を使用する。
 - イ. 画像が多い場合には、映写に時間を要することが想定されるので、必ず発表時間内に終了できることを確認する。
 - ウ. 発表用のファイルは、CD-R又はUSBフラッシュメモリーに保存して、学会名、演題名、演者氏名を明示して、**令和3年8月25日（水）必着**で下記あてに送付する。
※送付先 〒754-0002 山口市小郡下郷1080-3 (公社)山口県獣医師会
 - エ. 準備の関係上、送付受付日以後の受付及び修正はお断りする。
 - オ. ウイルス対策上、演者から直接の受付及び修正はお断りする。
 - カ. 映写用の予備の電源は準備する。
- ⑥ パソコンにコピーした発表用ファイル及び送付されたCD-R等は、責任をもって消去又は処分する。
- ⑦ 次演者は、前演者の講演開始とともに必ず「次演者席」に着席する。
- ⑧ 質問、追加討論をする者は、発言に先立ち所属、氏名を述べる。
- ⑨ 講演、質問、追加討論等で時間を超過する場合は、座長の権限により打ち切ることがある。

4 研究発表者並びに共同研究者について

研究発表者・共同研究者：会員及び会員以外の者

5 参加費

- ① 山口県獣医師会会員・学生（大学生・専門学校生等）：無料
- ② 動物看護職の方：1,000円
- ③ 上記以外の方：3,000円

6 注意事項

会場内での携帯電話の使用、講演（発表）の録音並びに写真撮影は禁止する。

「リゾートしらかみ」五能線の旅

山口支部 鹿島 貴朗

(山口農林水産事務所畜産部)

今回は、あの「リゾートしらかみ」を紹介しようと思います。6月現在、県外への遠出が難しいですが、規制明けの旅行先の1つとして提案します。

「リゾートしらかみ」は、秋田県秋田駅と青森県青森駅or弘前駅を五能線経由で結ぶ、全車指定の快速列車です(つまり18キップ+指定席券で乗車可)。車両は「樺(ブナ)」、「青池」、「くまげら」の3種類があり、このうち樺編成のみ物販・飲食スペースが備わっています。今回は秋田発青森行1号樺編成のプログラムを紹介します。

早朝に秋田駅を出発し、かつて2番目に広い湖だった八郎潟の横を抜け、東能代駅でスイッチバックを行い、五能線内に入って能代駅に停車します。

能代駅では、最寄りにバスケットボール全国大会常連の能代工業高校があることから、そのPRとしてホームにバスケットゴールが設置されています。当駅停車中、フリースローチャレンジが行われ、見事決まれば記念品がもらえます(1・3号のみ)。

その後、遠くに白神山地を見、左手に勇ましい日本海を眺めながら沿岸を走り、やがて「陸奥富士」岩木山の麓を走り弘前・青森に向かいます(白神山地は正直あまり見えない…。また、山口や山陰の日本海とは違う、はず…)。

この辺りから先頭車両イベントスペースにて、車内講演として津軽三味線演奏や人形芝居等が行われます。津軽三味線の生演奏は、津軽三味線独特のテンポや音圧等、かなりの迫力があります。全車両でモニター視聴もできますが、是非実際に見て聴いて体感していただきたい、個人的メインプログラムです(1・2・3号)。また人形芝居「金多豆蔵人形芝居」は青森県中泊町の無形民俗文化財であり、地

元の言葉で分かりにくく感じる部分もあったが、話はコミカルで面白く、何より貴重な機会ですので、こちらも是非見て下さい(樺編成のみ)。

全てのプログラム終了後、弘前駅でスイッチバックを行い、新青森駅、終着青森駅に向かいます。途中の川部駅で普通列車に乗り換えると、一足早く青森駅に着くことができる場合があります(小技)。

その他のプログラムとして、語り部による講演(3・4号)や、千畳敷駅で15分ほど停車して駅近くの千畳敷海岸での散歩が楽しめる車両もあります(2・3・4・5号)。また、夕陽が沈む時間帯に日本海沿岸を走る車両もあり、日中とはまた違った景色がみられるそうです(6号)。

最後に、号数により使用される車両やプログラムが異なりますので、時間や内容をよく確認の上予約してください(スイッチバックを2回行いますので、自分のように窓側席にこだわりのある方は要注意)。気兼ねなく自由に県外へ旅行できる日を心待ちに、感染症対策等に協力・実践していきましょう。



駅のホームとは思えない造り。左手は添えるだけ。

花田書記の永年勤続に感謝!

会長理事 田中 尚 秋

平成12年(2000年)3月1日採用から21年余にわたり本会のためにご尽力いただいた**花田敦子書記が6月末日をもって退職**されました。

彼女には主に会計事務を行ってもらいましたが、文書処理でも県学会や中国地区学会に係る抄録のとりまとめ、一般社団法人から公益法人へ移行時の事務処

理等、多くの事務処理にもその能力を遺憾なく発揮していただきました。いくら感謝してもしきれない思いです。今後ますますのご発展、ご多幸をお祈りし、会を去られるに当たってのお別れの言葉といたします。長い間、本当にありがとうございました。

事務局だより

6月13日 ・令和3年度山口県獣医師会定時総会(防長苑)
6月13日 ・令和3年度山口県獣医師会第2回理事会(防長苑)
6月23日 ・令和3年度日本獣医師会通常総会(東京 リモート参加)
6月25日 ・会報編集委員会 (県獣会館)

6月28日 ・中国地区学会幹事会 (広島市)
6月28日 ・令和3年度山口県畜産振興協会幹事会(JAビル)
6月30日 ・学会運営委員会・獣医学雑誌編集委員会(県獣会館・リモート併用)
6月10日、24日 事業推進会議 (県獣会館)

次回編集委員会 7月27日(火) 13:30~

山口県獣医師会会報 第722号 令和3年7月10日(毎月1回発行)

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 上田 晋平

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷